



特定非営利活動法人
ふみ月の会
〒182-0024 調布市布田 5-5-7
TEL/FAX 042(486)9901
E-mail fumitsuki@mrj.biglobe.ne.jp
第16号 2009年3月17日

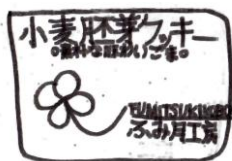
先日、障害者自立支援法に関して大きな動きがありました。与党プロジェクトチームが「応益負担から応能負担への転換」、「原則一割負担の廃止」の方針を示したのです。障がい者が生活していく為の最低限のサービスに負担が必要になる事に対して、法の成立時から当事者の間で強い反対の声があげられていました。今回の決定に関しては、実質応益負担の枠組みが残されているという意見も多く聞かれ、問題の根本的解決とは言えません。

日々、私達はメンバーと向き合い共に自立をめざしています。地域での豊かな暮らしを実現するためには、作業所などの受け皿を、また家族を包括的に支援していく枠組み作りが必要です。障がい者の負担や事業所の報酬に関してつい先頃改正案が出されましたが、皆が安心して通える為の安定した運営基盤を確保することが私たちの重要な課題です。

今年もメンバー達はそれぞれの課題を持ち励んできました。療育にあたり私たちが大切にしていることの一つに、ゆるぎない信頼関係を築いていくことがあります。そのような関係を礎にして、時に苦手なことにもとりくみ悪戦苦闘しながらも成し遂げた時の皆の表情には、喜びや自信があふれています。誇りを持って生きることとは、そのようなことから実現すると私たちは信じています。それはメンバーに限らず、また障がいの有無に関わらず、人間として普遍的なことと皆から教えられています。

会では上記の自立支援法の重要課題をはじめとして、立ち退きなど問題が山積しています。そのような中で、今年度も多くの方から様々な形でご協力・ご支援を頂き、心から感謝しております。今後も私たちはかけがえのないひとりひとりが地域で本当の意味で誇りを持った人生を歩んでいけるよう、共に励んでいきたいと思えます。

ふみ月工房の胚芽クッキー



「サクサクで最高!」「モソモソで失敗」「焼きがイマイチ」ふみ月工房のクッキー納品前最終チェック、試食の場面での会話です。舌触り・形・歯応え・風味・・・・作り方のほんのわずかな違いが重なっ

て大きな差が生まれる手作りクッキー。

皆で作るふみ月工房のクッキーは、添加物を一切使わず安全な国内産の材料で作られています。試作の段階でより美味しく出来上がった事から卵は使用していません。その為品質は非常に変わり易く、まさに“生もの”を扱うような注意が必要です。製造に当たっては季節や天候、また気温と湿度等の条件によっても生地は全く異なる影響を受け、注意深く状態を見る事、条件の変化に柔軟に対応することが強く求められます。

そんな難しい工程を担っているメンバーがいます。プレーンクッキーやハーブクッキーをよりサクサクと軽い食感に仕上げるため、ミキシングの時気温等の条件によって氷をあてたり、温めたり、また時間も調整します。これらを自分で判断して実行することは大変難しいことですが、積み重ねにより少しずつ、そして確実にできるようになりました。

このようにしてふみ月工房のクッキーの素朴な味は作られています。実際にはまだ失敗も多く、試行錯誤を重ねているところです。それでも、気に入っていつも買ってくださいの方やおいしいと声をかけてくださる方もいらっしゃるで大変うれしく思っています。これからも多くの人に召し上がっていただけるよう、皆で励んでいきたいです。



雑飾り作り

療育グループで雑飾りを作りました。今回は「超軽量紙粘土」を使って作ります。

まずは粘土に絵の具を混ぜ手でこねていきます。苦手意識があったり集中が難しい人もいましたが、だんだんと色が変わってくる様によく着

目していました。胴体、頭、着物と整形するのも大変難易度の高い工程です。皆奮闘しながら、雄雛と雌雛をやっと完成させました。

映画鑑賞

作業グループでは今年2本の映画を鑑賞しました。少しおしゃれをして、都心の映画館へ。

野生動物の生態を迫力ある映像で追った「earth」。日常、私たちが触れることのない動物たちの表情がスクリーンに映し出されます。親子のクマやミーアキャットの仲むつまじい様子など微笑ましい情景もありましたが、ライオンや象、シャチなどの狩りのシーンは恐ろしく、また鯨などなじみの無い動物は皆の目に不気味なものと映ったようでした。目をそむけてしまう人も中にはおり、皆にとっては少々厳しい映画だったかもしれません。

もう一本は「旭山動物園物語」。廃園の危機に立ち向う動物園の奮闘を描いた作品です。テーマや物語の展開が難しいものだったかもしれませんが、動物園職員の必死な姿や動物との触れ合いは目を引き、真剣に観ていました。この映画で扱われる動物園の再生という「希望」を感じ取っていたからではないでしょうか。

パン作り

電子レンジを活用した画期的なパン作りの方法を本で見つけました。なんと生地作りから焼き上がりまでたったの40分でできるというのです。試してみると、本当に簡単で早く、しかも美味しく焼きあがります。

早速挑戦です。まず試作品を試食。おいしい！皆で作ろう！当日何をするのか不安だった人も、難しそう・・・と思っていた人も、明確な目標が定まりました。生地を割りばしでこね、打ち粉をして成型。粉がこぼれそうになったり、生地が手にくっついったりしながら、めいめいが形づくるパン生地がどんどん出来上がります。そうだヨモギを混ぜてみよ



う。コーヒパンもおいしそうだね。ゴマもいいかもしれない。付け合わせのポテトサラダとコーンスープも着々と準備が進んでいるようです。オーブンからは香ばしくていい香りが・・・。

お皿一杯の焼き立てパンとポテトサラダ、コロケ、コーンスープ。自分たちで作ったいろいろなパンをいただき、皆幸せな時間を過ごしました。次はどんなパンを作ろうか。

餅つき

今年もぜひ行いたいと考えていた餅つき。しかし道具と場所の問題が解決できず頭をひねっていました。そこに深大寺陶芸教室の馬場先生から杵・臼と教室を使わせて下さるとの大変うれしいご提案が。

陶芸教室に着くと、先生と教室の皆さん、近所の方がかまとまきでもち米を炊きながら出迎えてくれました。皆も手伝いをと、大根をおろしたり、納豆やきな粉・のりなどを準備しました。



さて、もち米がやっと炊き上がりました。つく前に一口食べさせてもらいます。おいしいね！皆昨年の餅つきのことを覚えていたのか、楽しみにしている様子で、積極的にきねを手にとった人もいました。とれたて野菜のお浸しや自家製の漬物もいただき、みな大満足です。

昨年に続いて、馬場先生や皆さんのおかげでもちつきが実現できました。ありがとうございました。やはりつきたての味は格別なもの。ぜひ来年も堪能したいものです。

高尾山ハイキング

療育グループの活動で、高尾山にハイキングに行きました。切り株や岩・急な斜面と見るからに困難そうで前向きになれないのは当たり前、そんなコースを歩きました。「困難なことにも一生懸命取り組む」「頂



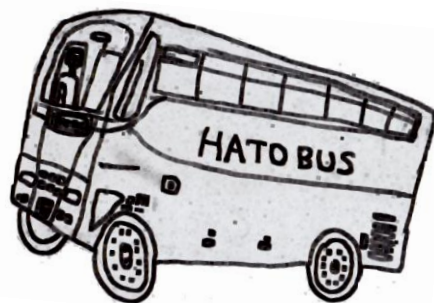
上まで登る（最後まで努力する）」ということを目標にしましたが、歩く前からボランティアさんに依存が出てしまい、寝転がったりして登ることを拒否する人もいました。私自身暑さも手伝って、途中で挫折してしまいそうな程困難なコースで、皆には目標が高すぎたのでは…と何度も頭をよぎりました。しかし、関係のついたスタッフから“シッタゲキレイ”されることで少しずつ、でも確実に登ろうとする姿勢が見え始め、時間はかかったものの何とか頂上に到着することができました。その瞬間、ひたむきに取り組んだ皆の姿を見て何とも言えない感動がありました。そして、難しいと途中で過小評価してしまった私はまだまだ一人ひとりの“内に持っている力”を信じていなかったのだと思いました。ややもすると逃げ出したくなることを困難なことに挑戦し、やり遂げることができる力を一人ひとりが持っているのだと改めて確信させられました。

はとバスツアー

「ノーマライゼーション」—— よく耳にする言葉だと思いますが、作業グループの皆はまさしくそのような(少しオーバーですが)

「はとバスツアー」に参加し、浅草・東京タワーを周りました。外食や映画・コンサート等は今までの積み重ねにより、それぞれの場面でそれなりに落ち着いて過ごしたり、楽しんだりできるようになってきましたが、一般の人に混じって「観光」ということは初めての試みです。いつもはメンバーに合ったプログラムの為自分たちのペースで行動できますが、今回はそうはいきません。常に団体から遅れないよう行動しなければならないのです。またバスの中では見ず知らずの人と隣り合わせになることで極度の緊張や不安がある人もいました。しかし、そうした中、励まされながら普段集団行動がなかなか難しい人が団体から遅れないよう一生懸命歩いたり、寄り添ってもらうことで車中の緊張や不安が和らいでガイドさんの話に耳を傾けることができるようになりました。

一人ひとりまだまだ課題はありますが、いつの日か皆が一般の人に混じって“楽しく”観光できる日が来ることを願い、これからもこのような経験を増やしていきたいと思います。



母の声

調布養護学校に通っています奥田新吾の母です。新吾は広汎性発達障害と自閉症を両方持っています。本当に重い障害ですね。新吾はふみ月の会に通ってあっという間に2年になりました。今はニコニコ笑って楽しく活動に参加していますが、最初は初めて経験する場所になかなか慣れなかった。不安だったり、泣いたりして落ち着きませんでした。でも職員さんとボランティアさんから熱心なご指導してもらいだんだんおちついてきました。以前100円ショップの前を通ると必ず店に入るというこだわりがありましたが、朝香さんにちゃんと言い聞かせをされて店に入らなくても大丈夫になり、ママが「今日、行かない、帰るよ」と言えば指示を聞いて一緒に帰れるようになりました。いろいろ挑戦して苦手なこともできるようになりました。

現在新吾は思春期と反抗期の真ただ中で、ママのお話ぜんぜん聞かないので本当に悩んでいます。ふみ月の会の朝香さんと大塚さんにも相談して、新吾とふたりでどうやって問題を乗り越えるかちゃんと考えなくてはと思います。今頑張らないと新吾の将来はもっともっと大変です。親も大変です。親が亡くなったあと自分でどうやって生きていくのか、社会でいろいろなマナーやルールをどう守るかなど、本当に様々な問題があります。今は自分の感情をコントロールできることが一番重要なことと思いますね。

ふみ月の会に通っていろいろな経験をして得たことは新吾の将来にとって非常に貴重なことです。これから新吾とママとふみ月の会の職員さんたち、学校の先生たちと一緒に前向きになって頑張りたいと思います。どうぞこれからもよろしくお願いします。 奥田 亭美

ボランティアさんの声

私はふみ月の会に感謝していることが二つあります。一つ目は、努力という言葉が好きになりました。メンバーが課題に対して、取り組む姿を見て考えが変わりました。うなり声に聞こえるが、本人は一生懸命歌っている。驚きました。結果でなく、行動すること自体が大切だと教えられました。二つ目は、私に社会貢献が出来たことです。私は陶芸教室を始めて35年になりますが、仕事以外のことに経験も自信も無く、長い間焼き物以外は出来ないと思い込んでいました。そのような私が、ふみ月の会でボランティアをさせて頂くことにより、仕事を離れて私個人として社会と関われることが解りました。これからは気負わずに少しずつ社会に貢献していけそうです。

高尾山ハイキングの時の相手の方は、高校3年生で、何でも出来る人です。いっしょに行動して、お昼にはイチゴを分けてもらいました。まあ

何か、気を遣わなくていいからね、がんばらなくていいからね、と言われているようでした。ふみ月に帰り、その方にソーラン節を踊って見せていただき、迫力にまた驚きました。がんばる人は違う、私はカラオケも歌えないのに。私事ですが、25年前高尾山で膝を痛め、それ以来下り坂で再発します。それがなんと、ぜんぜん大丈夫。会員の方たちではないですが、やれば出来る自信になりました。自分でほめて、自分で喜んでいます。何よりうれしい。

個性あるメンバーのため療育と言う大変なことを仕事にする職員、そこに参加するボランティア。ふみ月の会は、これからも地道に歩んでほしいと思います。

馬場 咲夫

ボランティアの方々

～いつも貴重な時間を使って来てくださり大変感謝しております～

馬場 咲夫様	重光 喬之様	沢崎 俊之様	染川 章子様
若井 慎一様	若井理保子様	茨城美根子様	谷口 美喜様
佐藤 沙織様	菊池 優子様	高野 誠司様	酒見 一恵様
安藤 亮司様	御子柴陽子様	渡辺さとみ様	井出百合絵様
桜井 真理様	大重 裕二様	寺門 陽様	山崎 仁智様
飯田 広子様	大瀬良あゆみ様		

ご寄付を頂いた皆様

～ 心強いご支援をありがとうございます ～

- ・ 調布市社会福祉協議会様より福祉まつり配分金
 - ・ 調布市仏教会様より寄付金
 - ・ 国際ソロプチミスト東京-調布の皆様より寄付金
 - ・ 仙川教会様より寄付金
 - ・ 鴨下様より寄付金
 - ・ 浜田様よりパソコン等寄贈
 - ・ 熊沢様より寄付金
 - ・ 東京都共同募金会様より寄付金
 - ・ 東京善意銀行様より木下大サーカスご招待
 - ・ 中央競馬馬主社会福祉財団様よりノートパソコン助成
- この他にも染川様、角田様、白鳥様、朝香様、赤沼様その他多くの方々

がバザー一品や季節の品々、古シャツ(藍染め用)等ご寄付くださいました。

賛助会 新規・継続の方々

～温かいご支援を頂きお一人お一人に心より感謝申し上げます～

中嶋 勝夫様	青木 利夫様	関口 昇様	関口美喜代様
赤沼 千穂様	松田 景子様	和田 房子様	長谷川 宮様
朝妻 榮子様	福田ちづ子様	清水まどか様	関口 夢佳様
松浦 真様	清水 智之様	吉見 朋子様	宮澤 春好様
込山真理子様	鈴木 晴江様	益田 文教様	桜井 昭五様
柳川 昌見様	小林美和子様	奈良橋香織様	茨城美根子様
溝口 勝也様	奈良橋達也様	伊藤 良子様	幅 康路様
杉山 彩子様	山岸 正様	長尾まゆみ様	沢崎 俊之様
岸 みどり様	山口真理子様	白鳥かをる様	長屋 恵様
朝香 喜代様	角田いく子様	古川 進様	朝香 吉雄様
朝香 房子様	若林 美旗様	金子 善男様	古川 敏美様
若林 拓也様	須賀川なおみ様	上野 史子様	

ありがとう
ございました。



賛助会ご入会のお願い

私たちの会は、様々なハンディを持つ子どもたちや青年たち一人ひとりに応じて自立に向けたきめこまやかな療育を行うことを目的として活動を続けてきました。そして、一人ひとりが生きる力を確かなものとし地域で心豊かに生きていけることを願い取り組んできました。

しかし、現在の福祉政策は安定した長期的な運営の見通しを持ちにくいものです。これから更に厳しい状況が予測されますが、そのような中でもより充実した活動を行う為励んでいく所存です。

皆様の温かいお力添えをどうかよろしく願いいたします。

・ 年会費一口 2000円 (何口でも)

・ 郵便振替口座 0016-5-610087

「NPO 法人 ふみ月の会」